



文化庁委託事業 カイロ旧市街、住民参加 の保存まちづくり

連健夫

JCAABE一般社団法人日本建築まちづくり適正支援機構代表理事

日本学術振興会カイロ研究連絡センターの深見奈緒子センター長から声がかかり、JCAABE日本建築まちづくり適正支援機構が受託者として、2021年～実施している事業

- ▶ **事業趣旨**：カイロ旧市街は世界遺産にもかかわらず、歴史的建築物や街並みの保存において不十分な状況で、建物の風化や空き家、空き地の荒廃、違法建築やゴミや交通問題などを抱えている。そこで、**住民参加によるまちづくり**により、建築や街の価値を理解し、共有すると共に、歴史的な建物の保存、修復活動、街の生活環境を目指し、持続可能な保存まちづくりに繋げる。

メンバー

▶ ■カイロ側

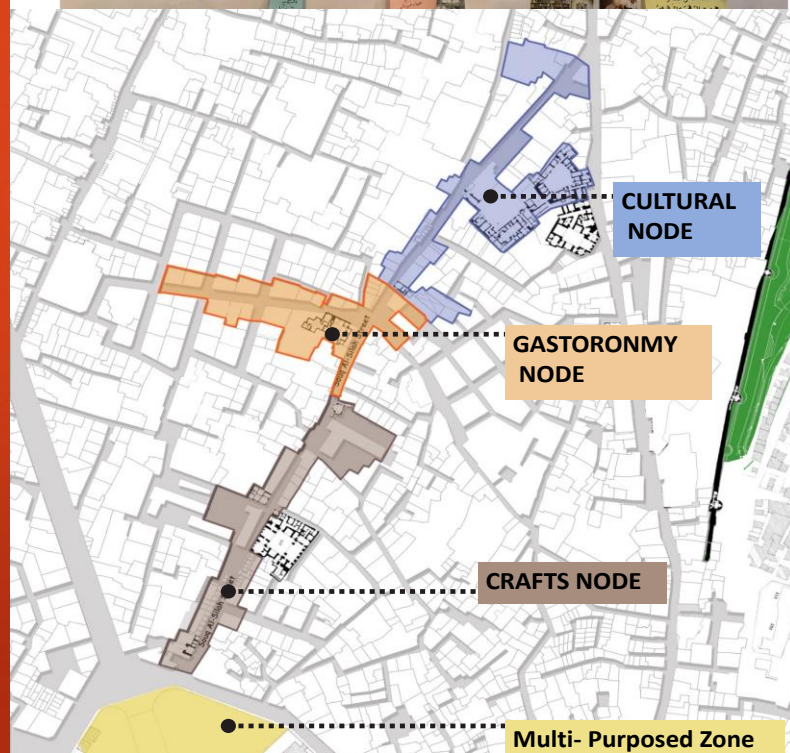
- ▶ ・深見奈緒子(日本学術振興会カイロ研究連絡センター)
- ▶ ・柏木裕之(太陽の船、東日本国際大学)
- ▶ ・サラール・ザキー(アズハル大学)
- ▶ ・アラール・ハプシー(メヌーフィア大学)
- ▶ ・ムハンマド・アブサダ(文化省、NOUH)
- ▶ ・パイジーシャラビー(文化省、NOUH)
- ▶ ・アムル・アブデュルカリーム(エジプト観光考古省)
- ▶ ・アフメド・セドキー(建築家)
- ▶ ・リハーム・アラム(USAId)
- ▶ ・高橋暁(ユネスコカイロ事務所)
- ▶ ・ジェフ・アレン(ワールドモニュメントファンド)

▶ ■日本側

- ▶ ※連健夫(日本建築まちづくり適正支援機構)
- ▶ ・布野修司(日本大学)
- ▶ ・岡田保良(国土舘大学)
- ▶ ※荒牧澄多(川越まちづくりNPO役員)
- ▶ ※磯野哲郎(国際開発センター)
- ▶ ・檜山元一郎(日本設計)
- ▶ ・宍戸克実(鹿児島県立短期大学)
- ▶ ※松村哲志(日本工学院専門学校)
- ▶ ※市古太郎(東京都立大学)
- ▶ ・荻谷勇雅(日本イコモス)
- ▶ ※JCAABEメンバー

2021年度

- ▶ ・日本側からのオンラインレクチャー、住民ワークショップの実施
- ▶ ・スークシラーハ通りの6つの歴史的建物のリノベーション案を作成



令和3年度 文化庁

令和3年度緊急的文化遺産保護国際貢献事業（専門家交流）
「カイロ旧市街の持続可能な保護策のための事業
/ 住民参加のまちづくり」

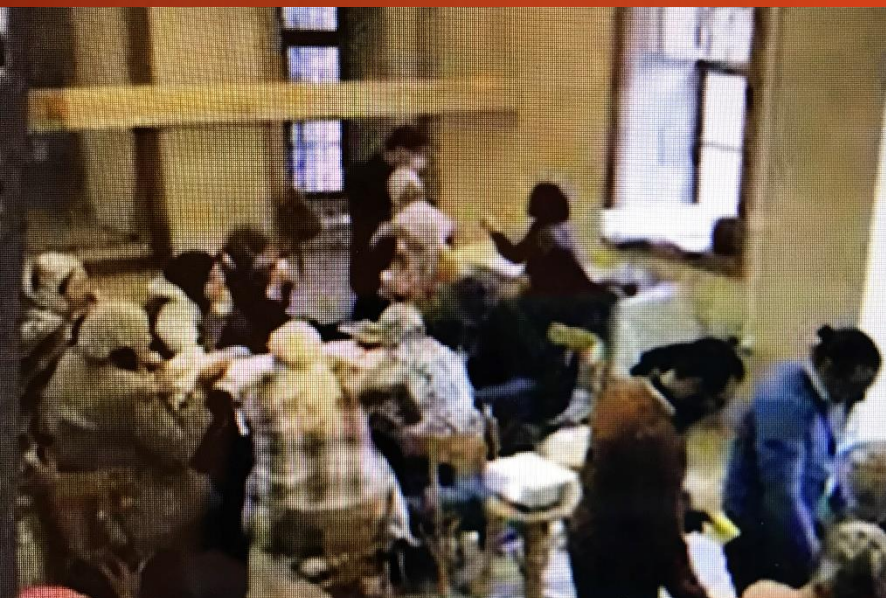
報告書

令和4（2022）年3月



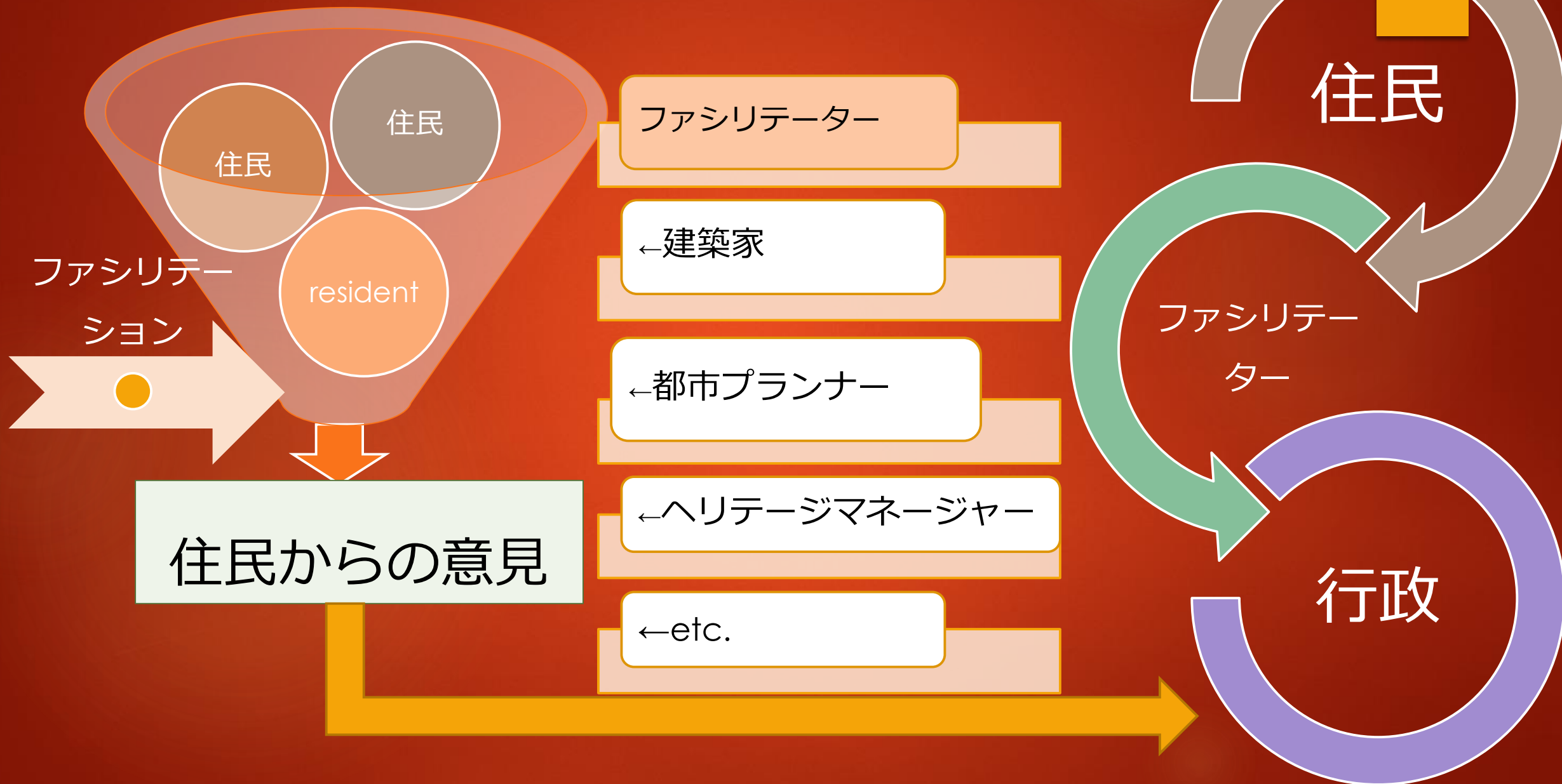
JCAABE

一般社団法人日本建築まちづくり適正支援機構



2022年度

- ・ファシリテーター養成講座をエジプトの建築家・専門家に行う。
- ・住民ワークショップを行い、ファシリテーションを実践する。



1st & 2nd

- ・ファシリテーターとは何か？(連)
- ・ファシリテーション技術(連)

3rd & 4th

- ・市民と協働するための手助け(松村)
- ・事前復興まちづくり(市古)

5th & 6th

- ・カイロのイスラム建築の特徴(深見)
- ・エリアマネジメント(宍戸)

7th, 8th, 9th

- ・文化遺産のソフトとハード(岡田)
- ・建築保存と景観(苅谷)
- ・川越の伝統工芸とまちづくり(荒牧)

10th & 11th

- ・リノベーションによる現代化(磯野)
- ・ヴァナキュラー建築と建築家の役割(布野)

6,7

8

9,10

11

12,1

①交通計画WS

②ゴミ問題WS

③防災WS

④歴史的建築物再利用WS

⑤無形遺産WS

⑥建物メンテナンスWS

⑦伝統工芸WS

ファシリテーター養成講座(11回)
住民ワークショップ(9回)

⑧観光と居住WS

⑨空き家空き地利用WS

JCAABE発行、まちづくりファシリテーター養成講座修了証



ZOOM受講終了時に受講者が意見・感想を記入するアンケート

2022-6-14 【MACHIZUKURI Facilitator The first lecture】 —response paper—

Thank you for your participation today.
A response paper is requested from all participants to facilitate learning.
Please answer the question.
Please submit this information as it will be part of the requirements for qualification.

naokofukami@gmail.com [アカウントを切り替える](#)



*必須

メールアドレス *

メールアドレス

Q1_ Please write your name. *

回答を入力

Q2_ What is your affiliation? *

第4回オンラインまちづくりファシリテーター養成講座:事前復興まちづくり(市古太郎氏)



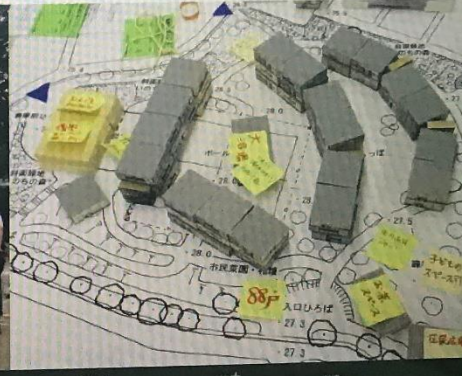
Two Research Subjects

I. Disaster research from the planning theory

- | Japanese domestic | International |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1995 Hanshin-awaji | <input checked="" type="checkbox"/> 1999 East marmara, Turkey |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2004 Cyuetsu | <input checked="" type="checkbox"/> 1999 Chichi, Taiwan |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2007 Cyuetu-Oki (Kashiwazaki) | <input checked="" type="checkbox"/> 2004 the coast of Sumatra, Indonesia |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2011 Great East Japan | <input checked="" type="checkbox"/> 2009 East Sumatra, Indonesia |
| <input checked="" type="checkbox"/> 2016 Kumamoto | <input checked="" type="checkbox"/> 2015 Golka, Nepal |

II. Community Resilience in Tokyo Metropolitan area

- Vulnerability analysis both building env. and society aspect
- Developing cope with capacity for the disaster
- Pre-disaster planning for post-disaster recovery



リスク=ハザード×脆弱性である。地域でのイベントは人の繋がりを作り脆弱性を下げ、リスクが下がる



At Risk
second edition

natural hazards, people's vulnerability and disasters

東京理科大学付属図書館
0426-77-2404



TaroIcHIKO@TMU の画面を表示しています ビュー オプション

$$R(D)=H \times V$$

R:Risk, H:Hazard, V:Vulnerability

◎Definition of Vulnerability :

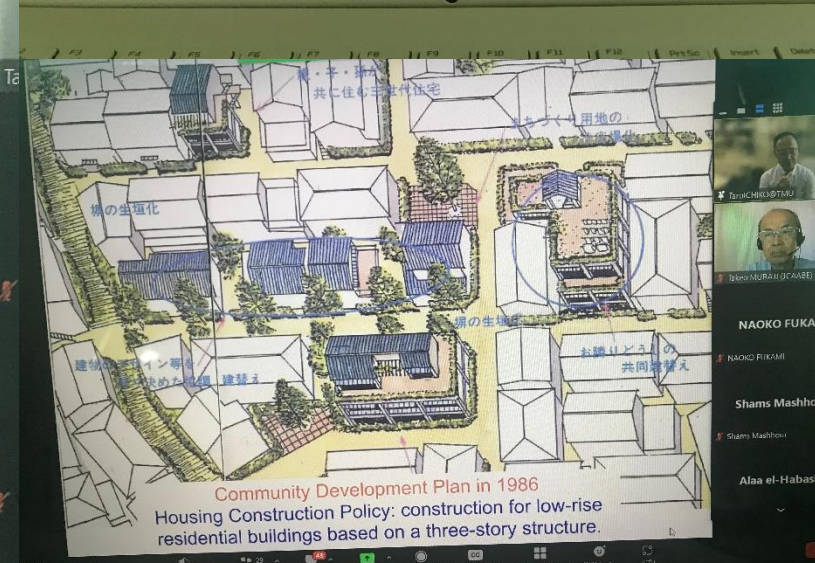
The characteristics of a person or group and their situation that influence their capacity to anticipate, cope with, resist and recover from the impact of a natural hazard (Ben Wisner,1994)

It's not simply mean a fragility or a susceptibility or a weakness.

It involves a combination of factors that determine the degree to which someone's life, livelihood, property and other assets are put at



Mochitsuki (rice cake pounding) festival held every year in community play park



Community Development Plan in 1986
Housing Construction Policy: construction for low-rise residential buildings based on a three-story structure.



2022年
8月18日～26日
荻谷氏と連で
カイロ訪問

カイロ旧市街
(世界遺産)



ファシリテーターと事前打合
街歩きのコース、役割分担の確認



住民ワークショップ（女性）、
事前復興まちづくりの説明





街歩き

災害時に危ないと所
復興時に役にたつ所を指摘する。

※ポインター（指示棒）は住民が持つ





ファシリテーター
の進行による
グループ
ディスカッション



【グループ発表】
・どこが危ないか、
復興時に何が役に立つか、
安全にするためにはどうす
ればよいか





男性の住民ワークショップ、
(別日に実施)
※一緒にすると女性が十分に話すことができない。



地図に歩いたコース、
指摘したものを書き込む



グループ発表の後、全体のまとめを
アラール教授、深見氏と共に行う。



アラール氏に赤坂の手ぬぐいを
プレゼント



何が得られたか？

- ▶ 袋小路は災害時に問題になる場所と指摘しつつ、それが**カイロの街の特徴**であることを住民は理解している。地域でそのことの共有が必要であることが認識された。
- ▶ 混雑している**交通の問題**や**ゴミの問題**が防災にも関わっていることが認識された。
- ▶ **空き地**は復興時に役に立つが、**ゴミのたまり場**にもなっているという状況がある。
- ▶ 風化した建物を危ないとして、取り壊すことになると、**保存すべき建物も解体**となってしまう**ジレンマ**がある。
- ▶ サビール（水飲み場）の再生事業を行い、その水を防火に使う、といった**歴史的背景を踏まえた提案**があった。

日本学術振興会カイロ研究センターにて、
現地の専門家を招いて、講演と意見交換

「歴史的建築物・景観の防災、耐震対策」 (荻谷)

「テヘランの歴史的市街地の現状保存再生」 (荻谷)

「参加の建築設計、住民参加のまちづくり」 (連)

ジェントリフィケーションの課題等が浮き彫りになる



ワールドモニュメントファンドの補修プロジェクト訪問 (Takyeh a l-Gulshani/タキエ・ゴルシャーニー)





既存マーケットの活動も含めて修復する



エジプト環境庁等、ステークホルダーを招いてプレゼンテーション
→ポジティブな反応は得られなかったが、共有できたのが成果！

日本大使館訪問、岡大使と面談
スークシラーハのプロジェクト
を説明、協力依頼→現地訪問



ユネスコ、カイロ事務所訪問
→助成含め、協力は可能

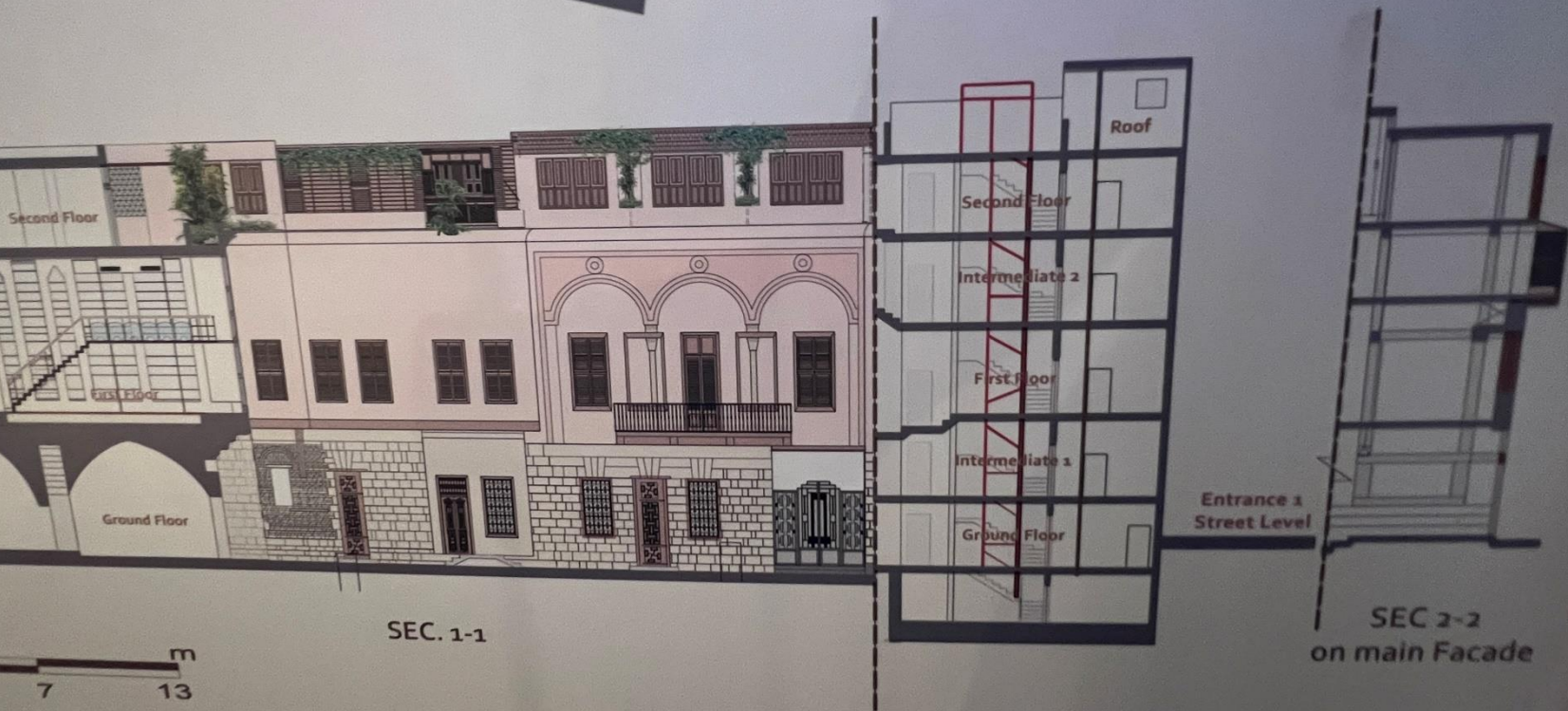
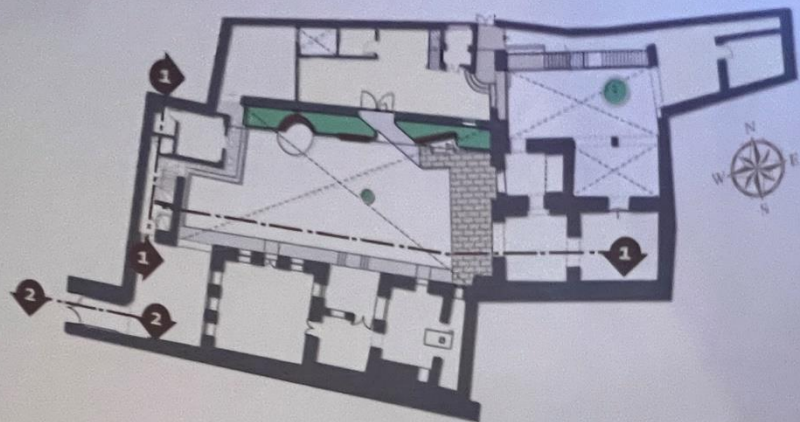


バイトヤカンは活動の中心地、古い建物のリノベーション、アラール教授の自宅、書斎、会議室、ホテルの複合施設、地域に開放されている。

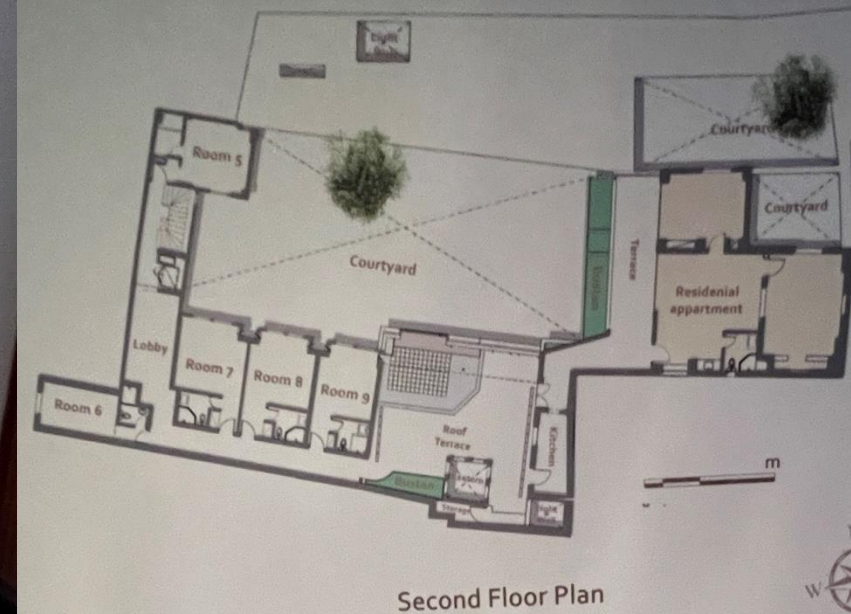


1階は中庭と開放部屋、工房

2階は会議室、書齋



3階は宿泊施設





2階
書齋



3階、宿泊室



ガーマ・アズハル訪問、深見氏の専門的説明
普段のモスクの状況を観ることができた。





歴史的な建築が日常的に使われている



お札にもなっているカーイトゥベ－イ
伊東忠太が絶賛した建築



ギザのピラミッド訪問
2021年にできた仮設レストラン
「9ピラミッドラウンジ」



カイロ周辺建物：違反建築は容赦なく解体される。
色のついた壁は解体後に現れた内壁

まとめ

- ▶ ファシリテーターの役割分担を明確にして住民ワークショップを実施することができ、**トレーニングの機会**となった。
- ▶ 住民ワークショップにおける**小物：ポインター**は有効である。住民自身が持ち、判断するので、主体が明確になる。
- ▶ バイトヤカン**は個人の持ち物ではあるが地域に開かれている**。水が飲める場、広場、それを囲む部屋が効いている。
- ▶ ※サビール（水飲み場）とクッターブ（寺小屋）の現代版！
- ▶ **交通とゴミ問題、空き家、空き地、風化建物が大きな課題**
- ▶ →**小さくても目に見える環境改善が求められる**。